



青き楓

島高だより
平成27年9月号
(通巻第114号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長随想 湧水抄

『楓たちの日々』に思う

校長 北浦剛資



島高生の「S」は「Stoic」のS。あの噴火災害下に、島高生は何を考えていたのか。

■未曾有の大惨事

198年ぶりに雲仙普賢岳に噴煙が上がってから、11月17日で満25年を迎える。その日は土曜日で、山から煙が二筋上がっていることについて、「50年ぶりだ」「100年ぶりだ」とあちこちで勝手な情報が流れ、既に火山の変動について情報を得ていた寺井先生は「すわ、一大事」とばかり、バイクで現場に急行した。春先までは小康状態を保っていたが、5月に溶岩ドームが出現すると次々に膨張しては火砕流が発生し、雨が降ると土石流となり、6月3日の大火砕流では43人の尊い命が一瞬にして奪われる大惨事となった。

■健気に耐えた楓たち

『楓たちの日々』は、平成3年当時、島原高校に在籍した生徒全員が書いた噴火災害体験作文の中から59編を選んだ記録集。節目の年に放送部が文化祭で取り組んだのは、当時の衝撃映像を背景に体験作文を朗読し、補足として当時職員であった校長へのインタビューでつなぐというもの。交通を寸断され、自宅待機を余儀なくされ、臨時休校、さらに夏季休業の1カ月繰り上げなど、異例すくめの非常事態の中で、三地区分散学習会や急ごしらえの学年学習合宿など可能な限り手段を尽くした。体育館の避難生活の中で大人の身勝手さを憂う者、家族と離れ離れの生活に不自由と寂しさをかこつ者、猛威を振るう自然災害を前に人間の卑小さを実感する者……、体験作文の中身はさまざまだが、災害下にあっても消沈することなく、当時の村川有校長がおっしゃった「できるときに、できることをやろう」の前向きな姿勢で、健気にたくましく乗り切った。出席率も極めて高く、当時の3年生は模擬試験でも県内トップの好成績を残した。『楓たちの日々』の一つ一つの言葉は、災害に苦しめられながらもそれを言い訳にしない心の強さを、今の島高生に伝えているのかもしれない。

10月の主な行事予定

- 1日(木) 定期考査(～10/2)
- 2日(金) 学年PTA(全学年)
*2年進路講演会
- 3日(土) 土曜講座(全学年)
- 8日(木) 3年生激励会(センター試験100日前)
- 10日(土) 土曜講座
中地区学習交流会(3年～10/12)
- 11日(日) 3年校内学習会
- 14日(水) 月曜の時間割

- 17日(土) 進研記述模試(3年～10/18)
- 19日(月) 19時完全下校徹底週間(～10/23)
- 21日(水) LHR:DV予防教育
- 24日(土) 進研実力試験(1年)
進研実力試験(2年～10/25)
県下一斉模試(3年～10/25)
- 27日(火) 芸術鑑賞会(午後)
- 30日(金) 高大連携講座(1・2年)
- 31日(土) 土曜講座
- ◇乳幼児ふれあい体験(1年) ○数字は組
6日④ 9日① 14日⑥ 19日② 22日⑤ 27日③

◆主な部活動実績◆

剣道部

平成27年度 国民体育大会
第35回九州ブロック大会

少年男子 第2位
少年女子 第1位

第11回「鹿屋杯」全国高等学校選抜
女子 第3位 剣道錬成大会

弓道部

平成27年度 長崎県高等学校中地区新人体育大会第24回弓道競技大会
女子個人 第3位 島田 美玖

陸上部

平成27年度 中地区高等学校新人陸上競技大会

男子1500m 第1位 福島 勘太
第3位 近藤 亮太
男子5000m 第1位 近藤 亮太
第3位 福島 勘太
女子100m 第2位 小林万佑子
女子1500m 第2位 城谷 桜子



体育部新人大会日程

10月開催競技		期日	会場
弓道	男・女	10/17～10/18	島原市霊丘公園体育館・弓道場、島原高校弓道場
テニス	男・女	10/17～10/19	佐世保市総合グラウンドテニスコート
ソフトテニス	男・女	10/17～10/19	長崎市総合運動公園かきどまり庭球場
体操	男・女	10/31～11/1	長崎県立総合体育館メインアリーナ
11月開催競技			
レスリング		11/14～11/15	島原翔南高校体育館
剣道	男・女	11/7～11/8	佐世保市東部スポーツ広場体育館
1月開催競技			
バレーボール男・女		1/16～1/18	長崎地区高校体育館、県立総合体育館
バスケットボール男・女		1/16～1/18	中地区高校体育館、諫早市とどろき体育館
サッカー		1/16～1/24	小佐々中央公園、北部グラウンド、東部スポーツ広場、鹿野工業高校
ラグビー		1/16～1/24	森山ふれあい公園、芝生広場、県営放虎原ラグビー場
2月開催競技			
駅伝		2/6	県立運動公園周回コース

「2015紀の国わかやま国体」出場選手紹介

◆剣道

少年男子：黒川 大樹(3年) 鶴浜 貴志(3年) 藤野 聖那(3年) 松崎賢士郎(2年)
少年女子：藤崎 薫子(3年) 竹中 美帆(3年) 杉本 唯子(3年) 大園 望夏(3年) 堤 麻衣子(3年)
少年男女支援コーチ：渡邊 孝経 教頭先生 少年女子コーチ：荒木 雅義 先生

◆レスリング

少年男子：濱本 大徳(3年) 喜多 豊和(3年) 金子 功誠(2年) 金子 将大(1年) 大津 拓馬(1年)
監督：喜多 龍昭 先生 コーチ：稲本 康弘 先生

◆バレーボール

少年女子コーチ：日向 薫 先生

長崎県代表、青き楓たちの活躍を期待しています！
期間：9/26(土)～10/6(火)



文化祭

9/12～13






青楓祭2015

Evergreen
～色あせない時を今～

マスコットキャラクター
「ふうちゃん」

体育祭

9/16




青楓祭 2015 が開催されました。
朝は雨模様だったものの、奇跡的に天候が回復し行われた体育祭。
文化部と各クラスの発表で盛り上がった文化祭。
今年の青楓祭統一テーマにふさわしく、色あせない 1 ページが
青き楓たちの心のアルバムに加わりました。

■ 今年は「Evergreen～色あせない時を今～」のテーマの下、訪れてくださった方々にも楽しんでいただく、をコンセプトに精一杯運営してきましたが、いかがだったでしょうか。

準備を進める中で、話し合いが難航することも、クラスや部活動間の調整に苦労することもあり、色々な場面で多くの方にご迷惑をおかけすることもありましたが、無事にエンディングを迎えることができました。関わってくださった皆さんの協力のおかげです。本当にありがとうございました。

来年は一層レベルアップした文化祭をお見せできるよう、後輩たちに期待します。

文化祭実行委員長 松尾 陵平 (2 年)

文化祭実績

【競技の部】

優勝 5 班
第 2 位 4 班
第 3 位 2 班

【応援の部】

優勝 5 班
第 2 位 3 班
第 3 位 4 班



■ この体育祭全体を通して、100 人を超える集団をまとめる難しさ、また、集団が 1 つになったときに生まれる強さを学びました。5 班が優勝できたのも、1・2 年生の協力のおかげです。本当にありがとう。

そして、温かい声援や拍手を送って見守ってくださった保護者の方々、地域の皆様にもとても感謝しています。ありがとうございました。

5 班班長 小川 祐二 (3 年)

■ 私たち 5 班は、競技・応援の 2 冠を目標に掲げ、練習に励んできました。短い練習期間でしたが、全員が 1 つの目標に向かって取り組んだ結果がこの完全優勝に繋がったのだと思います。

3 年生にとって高校生活最後の、そして最高の思い出になりました。指導してくださった先生方、ついてきてくれた 1・2 年生の後輩たち、応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

5 班リーダー長 本田 創大 (3 年)




